

令和6年度の重点課題

○情意面

「運動やスポーツをすることが好きですか」という問いに対して、男女共に10%以上の児童が「やや嫌い」と答えた。
 「体育の授業が楽しいですか。」という問いに対しても否定的な評価の児童が多かった。そのため、運動が苦手な児童が多いと考えられる。

○体力面

男子の達成率は66%（9項目中6項目）であり、女子の達成率は88%であった。
 「運動を1日から3日くらいしている」と答えている児童の割合が高く、運動をする習慣が身に付いていないことが分かる。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

- ・職員研修で行った、「主運動につながる前段階運動」を授業の導入で取り入れ、児童が楽しみながら運動に親しむことができるようにした。
- ・目的に応じて、児童同士で話し合ったり、協力をして運動をさせたりすることを通して、課題をクリアすることができるようにした。
- ・委員会活動の一環として、体力づくりや遊びを計画し、運動する機会を増やす取組を継続的に行った。
- ・体力づくりのメニューを児童に示し、児童が自分で選択して家庭で運動に取り組むことができるようにした。
- ・児童がよう通る通路に握力計を設置したり、掲示板に教職員やプロ野球選手の握力の記録を掲示したりして、児童が目的意識をもって握力を図ることができるように意欲付けを行った。
- ・1月に新体力テストの再測定を行い、児童の課題把握に努めた。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.30	20.13	30.14	44.67	54.80	9.35	155.41	21.80	54.71	第5学年	16.97	19.13	36.60	42.93	37.39	9.49	147.60	13.07	56.23

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.30	20.13	30.14	44.67	54.80	9.35	155.41	21.80	54.71	第5学年	16.97	19.13	36.60	42.93	37.39	9.49	147.60	13.07	56.23

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	83.33	10.00	0.00	6.67	第5学年	77.42	12.90	3.23	6.45

学校独自の意識調査

○体を動かすのが楽しい 達成率91.0%
 ・あてはまる…72% ・ややあてはまる…19% ・あまりあてはまらない…5.3%
 ・あてはまらない…3.7%
 ○体育の授業で自分の目標を決め、目標に向かって取り組むことができた。 達成率89.3%
 ・あてはまる…60.7% ・ややあてはまる…28.7% ・あまりあてはまらない…8%
 ・あてはまらない…2.7%

重点課題

情意面での課題

【課題】男女ともに、スポーツが好きという児童と、嫌いという児童の二極化が見られる。
 【要因】運動をする楽しさ、運動をすることの爽快感を感じることができる体育の授業を実施することができていない。

体力面での課題

【課題】柔軟性
 【要因】握力、上体起こし、50m走に特化した取り組みを進めてきたため、柔軟性を高めるための指導が疎かになった。

令和8年度の重点目標値

・4～6年生で体力テストを行った結果、握力、上体起こし、50m走に課題があることが分かったため、その3種目の達成率を本年度よりも上回ることができるようにする。(本年度達成率…22項目中6項目⇒達成率27%)
 ①「自分の体力向上を意識して運動をしているか」という質問に対して肯定的な回答を80%以上にする。②「運動やスポーツをすることは好きですか。」という質問に対して、「嫌い」と回答をする児童を0%にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・振り返りカード等を活用して、児童が目的意識をもって運動をしたり、自己の伸びを感じさせたりする取組を継続して行う。(振り返りカードに重点課題を明記する。)
- ・準備体操後、主運動につながる体づくり運動を児童同士で楽しみながら行わせる。
- ・ペアで柔軟運動をさせたり、運動をさせたり、思考させたりして、運動をする楽しさを感じさせる。
- ・場や運動の仕方の工夫等の研修を行ったりして、情報を共有したりして実践していく。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・体育委員会や縦割り班遊び委員会が、運動を伴うイベントを企画・実施し、児童が運動する機会を設ける。
- ・本校の重点課題を職員から児童に伝え、「握力チャレンジコーナー」の活用をアナウンスしたり、定期的の上体起こし、短距離走、長座体前屈を実施したりして、それぞれの重点課題の種目のコツを指導したりする。(新6年生は長座体前屈にも取り組む。)
- ・学校だけでなく、家庭に重点課題について伝え、家庭でも運動をする習慣を身に付ける。